



ニシジマ・アツシ

京都市生まれ。大阪芸術大学 音楽学科 音楽工学専攻 卒業。
80年代半ばより実験音楽の制作、ライブ・エレクトロニック・ミュージックによる演奏を始める。その後、音が持つ様々な側面から発想したヴィジュアル作品の制作も始める。2007年から2012年の間には、作曲家ジョン・ケージの生誕100周年イベント「John Cage Countdown Event2007-2012」を主宰し、連年公演を行うなど国内外を問わず、展覧会や演奏活動を精力的に展開している。2014年には文化庁新進芸術家海外研修制度にてベルリンに滞在し、作品制作・演奏活動も行っている。

科学者と芸術家のあいだ

～科学とアートのコミュニケーション～

芸術家 ニシジマ・アツシさんと地球科学者 山本順司准教授が展示室を巡りながら対談します。

とき 2017年9月27日(水) 17:15～18:00

ばしょ 北大総合博物館 3階 S301 展示室

びこう 申込不要・入場無料

Topo-notes / Acoustical Scenery

自身で作成したグラフィックノーテーション(図形譜)をもとに、ロウソクをテーブル上に配置します。そして、様々な要因で変化するロウソクの炎のゆらぎをシンプルなライトセンサーを使用して音に反映し、有機的な音場を生起させます。

とき 2017年9月29日(金) 19:45～

ばしょ 北大総合博物館 3階 S301 展示室

びこう 申込不要・入場無料

パフォーマンス後、1階「知の交差点」にて、この作品に関する座談会を催します。